

學小
唱歌集

初編

375.9
Mo14
資料室

43239

教科書文庫

4
760
31-1935
20000 25645

3-3

1990

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

C
Y
M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak

cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Inches 1 2 3 4 5 6 7 8

資料室

375.9
17014

教育部省音樂取調掛
編纂

唱歌集

初編

小學師範學校中學教科用書



續書

凡教育ノ要ハ德育智育體育ノ五

者ニ在リ而シテ小學ニ在リテハ最

モ宜ク徳性ヲ涵養スルヲ以テ要ト

スヘシ今夫レ音樂ノ物タル性情ニ

本ツキ人心ヲ正シ風化ヲ助クルノ

妙用アリ故ニ古ヨリ明君賢相特ニ

之ヲ振興シ之ヲ家國ニ播サント欲

セシ者和漢歐米ノ史冊歷々徴スヘ

シ曩ニ我政府ノ始テ學制ヲ頒ツニ

方リテヤ已ニ唱歌ヲ普通學科中ニ



645

25645

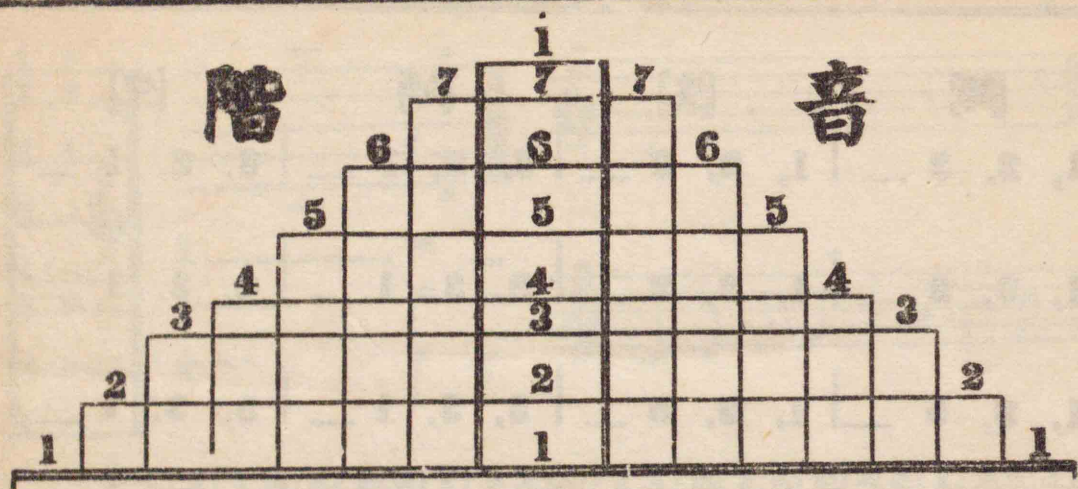
小唱歌集

續言一
音樂反調科

掲ケテ一般必須ノ科タルヲ示シ其
教則綱領ヲ定ムルニ至テハ亦之ヲ
小學各等科ニ加ヘテ其必ス學ハサ
ル可ラサルヲ示セリ然シテ之ヲ學
校ニ實施スルニ及ンテハ必ス歌曲
其當ヲ得聲音其正ヲ得テ能ク教育
ノ真理ニ悖ラサルヲ要スレハ此レ
其事タル固ヨリ容易ニ舉行スヘキ
ニ非ス我省此ニ見ル所アリ客年特
ニ音樂取調課ヲ設ク充ルニ本邦ノ
學士音樂家等ヲ以テシ且ツ遠ク米

國有名ノ音樂教師ヲ聘シ百方討究
論悉シ本邦固有ノ音律ニ基ツキ彼
長ヲ取り我短ヲ補ヒ以テ我學校ニ
適用スヘキ者ヲ撰定セシム爾後諸
員ノ協力ニ頼リ稍ヤク數曲ヲ得之
テ東京師範學校及東京女子師範學
校生徒并兩校附屬小學生徒ニ施シ
テ其適否ヲ試シ更ニ取捨選擇シ得
ル所ニ隨テ之ヲ録シ遂ニ歌曲數十
ノ多キニ至レリ爰ニ之ヲ割刷ニ付
シ名ケテ小學唱歌集ト云是レ固ヨ

階音



習練階音

- [一] 1,2_ 2,1_ [二] 1,2,3_ 3,2,1_ [三] 1,2,3,4_ 4,3,2,1_
- [四] 1,2,3,4,5_ 5,4,3,2,1_ [五] 1,2,3,4,5,6_ 6,5,4,3,2,1_
- [六] 1,2,3,4,5,6,7,1_ 1,7,6,5,4,3,2,1_

リ草創ニ属スルヲ以テ或ハ未タ完
 全ナラサル者アラント雖モ庶幾ク
 ハ亦我教育進歩ノ一助ニ資スルニ
 足ラント云爾

音楽取調掛長

明治十四年十月

伊澤修二謹識

1,2,3 | 1,2,3 | 3,2,1 | 3,2,1 | 1,3,2 | 1,3,2 | 2,3,1 | 2,3,1 ||

1,3,5 | 1,3,5 | 1,4,6 | 1,4,6 | 6,4,1 | 6,4,1 | 5,3,1 | 5,3,1 ||

[阿]	[生]	[阿]	[生]
1, 2, 3 _	1, 2, 3 _	3, 2, 1 _	3, 2, 1 _
1, 3, 2 _	1, 3, 2 _	2, 3, 1 _	2, 3, 1 _
1, 3, 5 _	1, 3, 5 _	5, 3, 1 _	5, 3, 1 _
1, 4, 6 _	1, 4, 6 _	6, 4, 1 _	6, 4, 1 _
[阿]	[生]		
1, 3, 5, 5	1, 3, 5 _	1, 3, 5, 5	1, 3, 5 _
5, 3, 1, 3	5, 3, 1 _	5, 3, 1, 3	5, 3, 1 _

第一 加をれ

第一 加をれ

第二 春山

第三

第四

1 方 多 ち 二 ホ へ 夕 ノ ラ ラ サ ク シ
2 と ま れ ち ど れ ち ズ の ね た る

3 幸 夕 ナ ビ ケ ラ ハ ラ ラ ス ス キ
4 な け よ た て よ ろ は せ の ち ど り

六 ア 元 キ ヤ ヤ マ マ ニ ニ タ ワ ツ タ カ ル ス キ ミ リ
チ キ 多 マ ラ キ ニ ス モ ル モ コ ミ コ チ テ ニ シ モ テ

第一 加をれ

第二 春山

一 加をれ。ふほへ。そのあそびくら。
 二 やまをれ。やまをれ。ちのほし。
 三 まをれ。なびけ。あそびのすくら。
 四 なびけ。あそび。かはたのすくら。

たつやま。あそび。あそび。
 あそび。あそび。あそび。
 あそび。あそび。あそび。
 あそび。あそび。あそび。

第參

1 アガレ アガレ ヒロノアトバリ
2 の不れ の不れ ろはせのわろ

第四

1 イハヘ イハヘ キミヨイハマ
2 しハハ れ しハハ ね ふたばのこまつ

第五

1 チヨニ チヨニ チヨマセキミ
2 りヨマ せ りヨマ せ わのきみちよ

第六

チシ ノ ヲ ヲ ニ ヲ シ ホ ナ チ ク レ 大
チ シ ノ ヲ ヲ ニ ヲ シ ホ ナ チ ク レ ル

圖 第七印 あづれ

一 あづれ。廣野のひたり。
二 のぼき。川原若船。

第四 いそぐ

一 いはへ。きんぐの代いはる。
二 志げき。あづばる小松。

第五 子代

一 ちよき。子代をよみみ。
二 いませ。わづるちよき。

第六 わかの浦

わのれ満ち。夕志ほみちくれ。
き。のむらぎ。あづる。

第七

1 2
 大 あ る き は 八 つ ナ ぎ ミ み
 三 き ヨ ろ シ し ノ な オ を ム ぐ 言 ろ
 1 2
 ち の ゲ マ ヒ び ス ね キ わ ナ た ケ れ
 ウ き メ て せ た ク つ ソ モ ノ ろ 空 に

第七 春を告ぐ

一 春は。を告ぐ。
 二 春を。告ぐ。
 三 春を。告ぐ。

第八 春を告ぐ

一 春を告ぐ。春を告ぐ。
 二 春を告ぐ。春を告ぐ。
 三 春を告ぐ。春を告ぐ。

第九

1 2
ハ マ ニ ナ ビ ク チ グ ナ の
ハ マ ニ ナ マ ク チ グ ナ の
ヨ モ ノ タ ミ ノ マ ゴ コ 音
ミ ミ ヲ の ろ ズ な て

第十

1 2
ハ ル カ ゼ ソ ヨ マ マ ヤ ヨ ヒ ノ ア シ タ
ヤ よ ひ は の や ま の は な き く ぎ ろ て

ア キ カ ゼ ミ ニ シ ム ハ ツ キ ノ ユ フ ズ
は つ き は み そ ら の つ き す む よ び ろ

第九 聖邊

一 聖邊 一。なびく。ちまはら。
の。か。乃。民。乃。ま。ら。ら。

二 け。ま。ら。あ。ま。ら。ま。ら。ら。
ま。ら。み。ら。ら。か。ま。ら。ら。

第十 春風

一 春風。そ。ま。く。ち。よ。ひ。の。あ。ら。
あ。ら。み。ら。ら。ま。ら。ら。の。ゆ。ら。

二 春風。あ。ま。ら。の。は。ら。ら。ら。ら。
ま。ら。ら。ら。ら。ら。ら。ら。ら。

第十一

1 六 ル ミ ニ ユ キ マ セ ヨ シ ノ プ サ ク ラ
 2 よ し の は ぎ く ら の は な き へ み や ま

ア キ ミ テ ツ グ マ セ タ ツ タ ノ 三 芦
 九 つ た は も み ち の ち て し へ な 西 れ

第十二

1 六 ナ サ ク ハ ル ノ ア シ タ ノ ケ シ キ
 2 あ き は ぎ を ぼ な は な ぎ き み だ れ

カ フ ル ク モ プ タ ツ コ 三 チ シ テ
 も と も す ゑ も づ ヲ み あ ち け て

第十一 桜紅歌

一 夢又ふ。いさよせ。新野の桜。
 あたしつごまを。花田のまみら。

二 よし野うはけし。け花さくみやま。
 むつても。紅雲を。ちりしくちがれ。

第十二 花さく春

一 花さく。はる乃。あたのけし。
 かをる。雪を。まきつて。

二 けき花を。れ。ちりさく。れ。
 そや。来え。あみ。に。

第十四

1 マ ツ ノ コ カ ガ ニ タ チ ヨ レ バ
 2 う め の は な ろ き き し つ れ ば

チ ト セ ノ ミ ド リ ゴ ミ ニ ハ シ ム
 有 し ろ に は 一 る の の け つ も せ

ウ メ ガ エ カ ザ シ ニ サ シ ツ レ バ
 つ る の の け ごと ろ も の き め れ ば

ハ ル ノ ユ キ コ ソ フ リ カ カ レ
 あ き の し も こ そ み に は お お け

第十四 松の木

一 松のうらうらげよ。あまのこもきや。
 ちんちんのみどりぞ。身にまゝむ。
 松のえがに。さつきた。

二 うめはももは。はつきた。
 かしらにまろ。ゆきほそり。
 勢にけええ。かさねきた。
 あたしを。あそびおけ。

第十五

1. まろやよみのあけぼろ。四方にやまを。見わたる。まろやよみのあけぼろ。

2. まろやよみのあけぼろ。四方にやまを。見わたる。まろやよみのあけぼろ。

3. まろやよみのあけぼろ。四方にやまを。見わたる。まろやよみのあけぼろ。

4. まろやよみのあけぼろ。四方にやまを。見わたる。まろやよみのあけぼろ。

第十五 まろやよみ

一 まろやよみのあけぼろ。四方にやまを。見わたる。まろやよみのあけぼろ。

二 まろやよみのあけぼろ。四方にやまを。見わたる。まろやよみのあけぼろ。

三 まろやよみのあけぼろ。四方にやまを。見わたる。まろやよみのあけぼろ。

四 まろやよみのあけぼろ。四方にやまを。見わたる。まろやよみのあけぼろ。

第十六

A musical score consisting of four staves. The notation includes treble clefs, a key signature of one sharp (F#), and a common time signature (C). The notes are accompanied by vertical labels in hiragana and katakana characters. The lyrics are written vertically below each staff.

第十六 わが目の本



一 わがひるもやの。あきほらけ
 こすめる月げ。あまぎにて
 そろり人をも。高懸ひやま
 喜きのくもを。きりぬべー
 ふいふさけお。ほやうたは
 かきうにほよ。うはおたれ
 五来りけりや。あめつらり
 あらそひつら。そやうり
 きぬころひがた。男にこそ
 中火よれかまを。あつらちや
 やまもろもろを。あつらて
 ねる。あそきの。いらぬ風
 まごうつららき。にほれ一え
 らそやうむらた。みねりた
 みやらうらら。やまげやま
 ひらつらさゆる。あゆれそら

第十七 様々

一
 ちれをにあいさう。梅小とまれ。
 はららけ花の。さうゆる代り。
 ちんちんちんちんあそび。らそよよとまれ。
 二
 ねんねんねんねん。ねんねんねんねん。
 ねんねんねんねん。ねんねんねんねん。
 あそびあそびあそび。あそびあそびあそび。

第十七

1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

第八

第一行: 多 多 多 シン 多 多 多 三 三 多 多 多
 第二行: 多 多 多 シン 多 多 多 三 多 三 多 多 多
 第三行: 多 三 多 多 三 多 多 三 多 多 多 三 三 多 多
 第四行: 三 多 多 多 多 多 多 多 多 多 多 多 多

第十八 うつらき

一 うつらき。わが子やいけこ。
 うつらき。わが子やいけこ。
 うつらき。わが子やいけこ。
 うつらき。わが子やいけこ。

二 うつらき。わが子やいけこ。
 うつらき。わが子やいけこ。
 うつらき。わが子やいけこ。
 うつらき。わが子やいけこ。

三 うつらき。わが子やいけこ。
 うつらき。わが子やいけこ。
 うつらき。わが子やいけこ。
 うつらき。わが子やいけこ。

第十九

子ヤノ一イタードノアケユクソラーニ
子グラヲイヅールモモヤツトリハ

アサヒノカゲノサシソーメヌレバ
カスミノウチニトモヨビーカハシ

ユメニルテアモトクオキイデーテ
アサイチスルミノソノオコタリラ

ムレツツハナニマヒアソーブナリ
イサムルサマーナルハルノーアケボノ

第十九 門の板戸

わやのいゝやがれあけいゝやがれ。
あそ目のかげろ。けいゝあねま。
わぐらういげろ。百八十き。
あそいねす。友とびうけ。
むきほく。あそい。あそい。
あそいねす。あそい。あそい。
いさせ。あそい。あそい。

第十年

第一行: きんも 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二
 第二行: ツのせ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二
 第三行: 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二
 第四行: 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二

第二十

一 ぼくらのけいりや。まがらうりや。
 本よむつき日。かさねけい。
 いけのり年を。まがらうりや。
 あけてぞけさる。あつさゆく。
 まがらうりや。かまらうりや。
 かみりあひら。まがらうりや。
 ろろれけい。ひやうさうりや。
 さきくやま。うたあまら。
 二 ぼくらのけいりや。まがらうりや。
 本よむつき日。かさねけい。
 いけのり年を。まがらうりや。
 あけてぞけさる。あつさゆく。
 まがらうりや。かまらうりや。
 かみりあひら。まがらうりや。
 ろろれけい。ひやうさうりや。
 さきくやま。うたあまら。
 三 ぼくらのけいりや。まがらうりや。
 本よむつき日。かさねけい。
 いけのり年を。まがらうりや。
 あけてぞけさる。あつさゆく。
 まがらうりや。かまらうりや。
 かみりあひら。まがらうりや。
 ろろれけい。ひやうさうりや。
 さきくやま。うたあまら。
 四 ぼくらのけいりや。まがらうりや。
 本よむつき日。かさねけい。
 いけのり年を。まがらうりや。
 あけてぞけさる。あつさゆく。
 まがらうりや。かまらうりや。
 かみりあひら。まがらうりや。
 ろろれけい。ひやうさうりや。
 さきくやま。うたあまら。

第 二十一

第 二十二

第二十一

一 わらむははのめをばるうちん。武精の
 らはみのわく。わけつはむ。秘の
 二 早業ハなふぞ。まじろす。れ不どけの
 けこべらせり。ちづれ。五行^{ごぎやう}ちつちり。
 三 かつ^{かつ}尺^{せき}業^{ぎやう}それりこやに。深^{ふか}づるを
 空^{そら}滑^{なめ}るひよ。尋^{たず}ねてはむ。わのれちり。

第二十二

一 ねむきよ子。よくわらちん。ハ、ハ、ハのみの
 父のわかせや。まあそらん。ねむれよ子。
 二 ねむきよ子。よくわらちん。ねむれよ子。
 母のさあけや。あつらん。ねむれよ子。
 三 ねむきよ子。よくわらちん。ねむれよ子。
 かげらぬみ顔。を。う。まを。ねむれよ子。

第五十三

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

第二十三 考代

一 考の代也。さよにやしらた。なれ
 いーの舞をなめて。おけのむら
 まで。うらたも。あかたけふ。
 かぎりえあ。

二 きふらうらひ。ちののたれ。
 いーた。つらなる。あはら。
 まで。かぎりちま。あとの業を。
 ほぎきまてまらふ。

第三十五

1 カヲリニシラルルハナサクミソノ
2 つきりげてまそふのなるのしみづ

カスミニカクルルトリナクハヤシ
カスミニカクルルトリナクハヤシ

キミガヨイハヒテイハルマデモ
キミガヨイハヒテイハルマデモ

カヲレヤカヲレヤウタヘヤウタヘ
カヲレヤカヲレヤウタヘヤウタヘ

第二十五

葉のうきうき

一 かわりにあはらる。花さく清園。
 葉ふかくる。もたかくはや。
 君の代いもひて。幾ままでえ。
 果をまきや。うらやうへ。

二 つたうげてりそふ。野の清水。
 りみぢらバルほへる。かゆのふらこ。
 きみぞ代えせぬ。いく秋中まで。
 てらや。いふへやにやへ。

第二十六

第二十六 隅田川

128

ふ 三 冬 暮 夜 夕 夕 暮 暮 暮 暮

之 音 ハ モシ 音 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕

三 暮 夕 暮 夕 暮 夕 暮 夕 暮 夕

八 暮 三 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕

第二十六 隅田川

一 すみぢがはらの。あなほらけ。
 雨をこしそみそ。のそらちり。
 水のまたく。ちねりけて。
 花うあそげ。しらねり。

二 隅田川。あなほらけ。
 水そみそ。すみあさる。
 こせのまじ。ふりうけて。
 月うあそげ。しらねり。

三 すみぢがはらの。あなほらけ。
 よそ白ゆ。うげをたて。
 おろろ。そなきたぬ。
 いそよ。あそげ。しらねり。

第二十七 富士山

一
ふそやにやぞ。あつやけら。
音ねりしきぞ。つそりたる。
けはへを雪。あろそはくそ。
そのゆたなをよそひる。
あつやまものえわしり。
しりのそち。はらそり。

二
卯國人を。あふぐちり。
わらぐくに人も。ほころなす。
照る目ろけ。そらゆくつよ。
けたひとやそに。かろやたて。
富士てふ山ろ。みわしり。
しりのそち。はらそり。

第二十七

上フモトニ クモサ カカリケ ル タカ子ニ ユキゾ
 上とつらに びとも あふぐちり て おろくに びとも
 ツモリタル ハダハハユ キコロモハクモ
 やこるな て てるひの め げ そりゆら つぎ
 ソノユキ クモヲ ヨソヒタル フチフ ヤマノ
 つきひと ときに ああやま て ぶじで あやまの
 五ワタシ ニ シクモノ モナシ ニルモナシ
 夢あたし に レくもの もなし なるもなし

第二十八

1 オボロニ ニホフ ユフツキ ヨ サカリニ
 2 ちぐきに すだく むしのこ ゑ そぎのは

ニホフ モモサク ラ ノドーカニ テ
 そよぐ ゐぜのおと みにーしみ て

ノドケキ ミヨノ タノシミ ハ ハナサク
 めにみる ものも きくもの も あはれを

カゲノ コノ マト 井 コノーウタ ゲ
 そふる あきの よ や つきーのよ や

第二十八 ねがろ

一 ねがろにけりふ。夕流下つ秋。
 けりふにけりふ。もはけりら。
 けりふにけりふ。もはけりら。
 ねがろにけりふ。もはけりら。
 ねがろにけりふ。もはけりら。

二 ちぐきにすだく。むしのこ。ねがろ。
 ちぐきにすだく。むしのこ。ねがろ。
 ちぐきにすだく。むしのこ。ねがろ。
 ちぐきにすだく。むしのこ。ねがろ。
 ちぐきにすだく。むしのこ。ねがろ。
 ちぐきにすだく。むしのこ。ねがろ。

第三十九

1 2

アツメ ねむる やハ あきけて まきり
みめぐくに 民草は うるほひまけり
かゝるこそ 今世も かまひのなかり
みまはるも あまなるまを たならぬあまなり
飢ゑるえちを たすむ 風やあつて
身はつてかゝるよ おんえほまあまなり
あらしうつその夜も あまなり
大正夜のはつしそのはつしあまなり

第三十九 雨あつめ

一 雨あつめねむるやハあきけてまきり。
みめぐくに民草はうるほひまけり。
かゝるこそ今世もかまひのなかり。
みまはるもあまなるまをたならぬあまなり。

二 飢ゑるえちをたすむ。風やあつて。
身はつてかゝるよおんえほまあまなり。
あらしうつその夜もあまなり。
大正夜のはつしそのはつしあまなり。

第三十

Musical score for 'The Jewel of the Palace' (玉の宮居). The score is written on four staves in G major (one sharp) and 4/4 time. The lyrics are written below the notes.

1. 玉の宮のまよき井のハのアレハテアメ
 ちるるツユサヘイトシグケレド
 女三ノカマドノニギハヒロハダツ
 ケアリニソ一アヲハレニケル
 みこらもやぬあセたまひ

第三十 玉の宮居

一 玉の宮のまよき井のハのアレハテアメ
 ちるるツユサヘイトシグケレド
 女三ノカマドノニギハヒロハダツ
 ケアリニソ一アヲハレニケル
 みこらもやぬあセたまひ

二 冬うねさむの月さえて
 隙のうせさる身をたぐり
 民を御とほほみこころ
 大徳衣やぬをさし

五
 月 日と 若ふ。あ 免 け ち ら ぬ。
 信 頼 む 事 々 ね。さ ま み き を。
 人 比 ら ぬ の。守 護 せ せ せ せ。
 四 神 乃 秘 せ せ。秘 事 一 也。
 智 多 少 事 々 々。世 の 中 の。
 人 比 ら ぬ の。寝 ち ら ぬ。

同 續 ぎ

五
 月 日と 若ふ。あ 免 け ち ら ぬ。
 信 頼 む 事 々 ね。さ ま み き を。
 人 比 ら ぬ の。守 護 せ せ せ せ。
 四 神 乃 秘 せ せ。秘 事 一 也。
 智 多 少 事 々 々。世 の 中 の。
 人 比 ら ぬ の。寝 ち ら ぬ。

第三十三

ア ヲ ヲ ヲ ア - リ ク ヲ ヲ ヲ キ ア リ

ア - - ア マ ヲ ア - リ

チ ヲ エウ ヲ ア - リ シ ヲ シ ア - リ

第三十三
五倫の歌

父子親あり。君臣義あり。

夫婦別あり。長幼序あり。

朋友信あり。

明治十四年十一月廿四日印刷發行
 同 十八年五月三版
 同 廿二年十月四版
 昭和十年五月一日印刷

編纂者 文 部 省

版權 所有 發行者 東京音樂學校

印刷兼 發賣者 大日本圖書株式會社
東京市京橋區銀座二丁目五番地

發 東京市京橋區銀座二丁目五番地

賣 大日本圖書株式會社

元

定價
 初編 金拾八錢
 第二編 金拾五錢
 第三編 金參拾四錢

文部省著作

新訂 尋常小學唱歌

全國小學校に使用すべき
 文部省新唱歌教科書

本 曲

【册六全判菊新】

附 奏 伴

【册六全判大倍六四】

| | |
|--------|---------------|
| ◎第一學年用 | 定價金拾參錢 (六錢料) |
| ◎第二學年用 | 定價金拾參錢 (六錢料) |
| ◎第三學年用 | 定價金拾參錢 (六錢料) |
| ◎第四學年用 | 定價金拾四錢 (六錢料) |
| ◎第五學年用 | 定價金拾四錢 (六錢料) |
| ◎第六學年用 | 定價金拾四錢 (六錢料) |
| ◎第一學年用 | 定價金卅八錢 (六錢料) |
| ◎第二學年用 | 定價金卅九錢 (六錢料) |
| ◎第三學年用 | 定價金四拾錢 (六錢料) |
| ◎第四學年用 | 定價金四拾六錢 (六錢料) |
| ◎第五學年用 | 定價金四拾六錢 (六錢料) |
| ◎第六學年用 | 定價金四拾六錢 (六錢料) |

高等小學唱歌 全一册 定價金拾參錢

小學農業書 全二册男子用 定價卷一二各金參拾錢

小學農業書 全二册女子用 定價卷一二各金貳拾錢

小學英語讀本 全二册 定價卷一金拾參錢 卷二金拾六錢

發行所 東京市銀座二丁目 大日本圖書株式會社

広島女子教員養成所

十一部

栗田 幸子